

# 子供宝也

No.14

平成 25 年 9 月 11 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

## やっど・やっど・やっど・・・

やっど校舎が完成しました。

大きな備品の引っ越しが終わったのが 8 月 23 日でした。そこから 1 週間。人権研修や国語科の授業研究の合間をぬって、校舎内を整理し、梱包をとりて教材や教具を棚やロッカーに入れ、学校見学会の準備をし、高学年は水泳の練習……。とにかくドタバタの 1 週間が過ぎました。

2 学期開始直前の学校見学会では、地域の皆様約 240 名を含めて 1000 名以上の方が来校されました。「きれいな学校ですね。」「私学みたいです。」などと、たくさんの方がほめてくださいましたが、「こんな会を開いてくださってうれしいです。」とおっしゃられた老夫婦。正直言って、開くまで大変でしたが、やってよかったと思いました。地域のなかの学校として認めていただけたと思いました。やっど再スタートがきれたなあといった感じでした。

2 学期が始まってもこんなことは続いています。あれがない、これがない……。旧校舎へ行って古い物を持ってきて、ペンキを塗って……。そんな言わば廃品を利用したものがいろいろなところにあります。ご来校の折に、そんなところも是非見ていただけたらと思います。

旧校舎内の清掃やゴミ出しなども 5・6 年生とともに行いました。ゴミはすごい量でしたが、近々、業者さんに取りに来てもらう段取りになりました。

最近になってやっど少しずつですがゆとりがでてきました。私も、この「子宝」を書くゆとりがすこしですがやっど、**本当にやっど**できてきました。

子どもたちの反応は上々です。廊下側の壁がないオープンスクール方式には戸惑いが隠せませんが、この頃、やっど慣れてきたようでいつもよりニコニコしているように見えます。以前より集中して学習しているようにも見えます。プールも伸び伸びして楽しそうです。先生もマイクを使って指示ができるので指導がしやすそうですし、なんだかうれしそうです。

保護者の皆様もかなりお待たせしました。初めて「むこのかぜ」に「さよなら校舎」という記事が載ってから着工まで 2 年もかかりましたよね。今となっては笑い話ですが、卒業生には申し訳ない気持ちでいっぱいです。その卒業生たちが学んだ旧校舎は 9 月 11 日から徐々に解体が始まります。複雑な気持ちです。遠くからご覧になることがあれば、たくさんの「やっど」のうえに完成した新校舎とともに、それを支えてきた旧校舎にも思いを寄せていただけたら幸いに思います。